

令和6年度 宝達小学校 学校経営方針（ビジョン）

- 1 教育目標 「主体的に学び、心豊かに逞しく生きる児童の育成」
校訓 ～よく考える子 おもいやりのある子 たくましくやりぬく子～
- 2 経営方針
「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「安心・安全な環境」「学校・家庭・地域の連携」の具体化を推進し、児童の成長がわかる学校をめざす。
- 3 本年度の重点
 - ・基礎基本の定着をもとに、主体的対話的で深い学びのある授業を展開し、確かな学力の定着を図る。 →児童の学力等の向上がわかる学校
 - ・令和の日本型学校教育への理解を一層深め、児童の学びを支援する環境作りを推進する。 →教師の指導力向上がわかる学校
 - ・働きやすさとやりがい为目标とし、業務改善に一層取り組む体制作りを推進する。 →教師の組織力向上がわかる学校
- 4 具体的な取組
 - (1) 自立した学習活動を一層進め、学ぶことの意義を実感し、学力の確かな定着をめざす。
 - ・教科横断的な視点をもとに「単元デザイン」を踏まえた、主体的・協働的な学習活動を進める。
 - ・教科等の資質能力育成のために、ICT（電子黒板・Chromebook）の効果的活用を図る。
 - ・学びのルールを徹底する。（「宝達っ子3か条」）
 - ・閉校の前に郷土の良さを再認識させ、その良さを外部に発信する活動を進める。
 - (2) 人とのかかわりを通して、心豊かな児童の育成をめざす。
 - ・繋がりのある道徳の授業の工夫・改善を図る。（児童、家庭、地域、教材）
 - ・場に応じた挨拶を身に付けた児童を育成する。※「立ち止まり、名前を呼び、先に」挨拶
 - ・「縦割り班活動」等を通して、全校児童の交流を積極的に進める。
 - ・「感想交流」を通して、主体的に他人と関わり合うことができる児童を育成する。
 - (3) 自分の健康に関心をもち、健やかな身体の育成をめざす。
 - ・児童の家庭生活の基本である「早寝、早起き、朝ごはん」を大切にす。
 - ・学校生活を通して、自分の健康に関心をもたせる。
 - ・年間を通した体力づくりを実践する。
 - ・児童が「進んでしたくなる、やりたくなる」取組の企画や声かけに努める。
 - (4) 安心・安全な学習環境づくりをめざす。
 - ・防災訓練（自然災害、火災、原子力、弾道ミサイル、不審者対応等）を通して、児童の「自分の命は自分で守る」意識を高める。
 - ・各種対応訓練（食物アレルギー、心肺蘇生・AED等）を通して、教職員の危機管理能力の向上を図る。
 - ・いじめや不登校に対して、児童の実態把握をもとに、家庭と連携しながら個に応じた組織的対応を推進する。
 - ・PTAや地域、関係機関と連携した児童の見守り活動を推進する。
 - (5) 家庭・地域と連携し、協働する学校をめざす。
 - ・本校の教育に対する説明及び結果責任を果たすため、PTA総会等での説明のほか、日頃より家庭、地域への発信を積極的に行う。（各種おたより、メール、ホームページ等）
 - ・各種ボランティアを活用し、学校と家庭・地域の連携を一層進める。
 - ・閉校に向けた各種取組を地域と連携・協力しながら推進する。
 - (6) 組織的に授業改善・業務改善に取り組む学校をめざす。
 - ・年間1人1回以上の研究授業を行い、授業改善・授業力の向上を図る。
 - ・ICT活用による効率的業務の推進を図るとともに、時間外勤務時間を縮小する。
 - ・校内OJTや校内研修会を通して、人材育成を図るとともに、業務の平準化につなげる。